

「できない」と、言わない建築会社



株式会社 kotori

住所：〒442-0857 愛知県豊川市八幡町亀ヶ坪120-7
ハイレτζ202

電話番号：0533-75-6266 担当者：今泉 順次
主要業務：建設業（耐震構法SE構法による注文住宅）

ホームページ：http://www.kotori-5to6.com

目指すゴール



<kotoriのSDGs宣言>

持続可能な社会を実現するには、人々が自分の周りの「人」や「もの」を大切にすることを心がける必要があると思います。そのためには、生産者側も、使い込めば使い込むほど愛着が増すような「ものづくり」を手がけていかなければなりません。また、現在の日本では、地域社会における人口流出が深刻化していますが、地域の産業が活性化し、人々が心豊かな暮らしを営むステージが確立されれば、持続可能な地域社会を実現することが可能です。

kotoriは、こうした考えのもと、長く住まうほどに愛着が増し、普遍的な美しさを備えた住まいをデザインします。また、地震や災害に対する安全はもちろん、ライフスタイルの変化にも対応できる強い構造を備えた住まいをご提供します。こうした事業方針に加え、地域の有能な職人及び木材の活用や、誰もが働きやすい職場環境づくりなどを通じて、「SDGs」が目指す持続可能な社会の確立に貢献します。



豊橋市立津田保育園様に寄付させて頂きました。

<tsumikiプロジェクト>

SDGsの「12.つくる責任、つかう責任」を実践し、建築現場で出た通常であれば廃棄するはずの端材を利用して積み木を作成し、無料で贈るプロジェクトです。



東海日日新聞

SDGsの取り組み紹介

<目標達成に向けた3つの取り組み>

1.資産価値の高い住まいづくり【ゴール7,11,12,13】

kotoriでは、認定長期優良住宅を標準仕様としています。また、ラーメン構造を木造建築に取り入れた「SE構法」も標準採用し、耐震等級3の住まいをご提供しています。さらに、気密性・断熱性を高めることで、CO2の削減を目指した環境に優しい家づくりにも取り組んでいます。

こうして、災害に強く、省エネ性にもすぐれ、長く安心して暮らせる住まいづくりを手がけることで、作り手としての責任を果たすと同時に、住み続けられるまちづくりの達成にも貢献します。そして、普遍性の高い美しさを備えた空間をデザインすることで、経年とともに愛着の増す住まいを実現します。

2.地域の「人(職人)」と「もの(木材)」の活用【ゴール8,9,11】

私たちは、地元の『人材』の腕により、そして可能な限り地元の『木材』を使用して、地元の人々が住まう家をつくります。地元の材や風土を知り尽くした職人さんがつくる家に勝るものはありません。彼らの卓抜な技術や豊かな経験をこれからの家づくりに生かし、次代に受け継いでいくことが私たちの使命です。そのため、できる限り既製品を用いず、建具なども大工職人さんや建具職人さんが手仕事でつくっています。

地元の志の高い職人さんたちに活躍する場が増えれば、地域が潤い、地域貢献につながります。また、地元材をたくさん使えば、地元の林業が活性化し、山林保護にも貢献できます。

3.ダイバーシティ経営【ゴール4,5,8,10,17】

kotoriでは、多様な人材を活かし、その能力を最大限に発揮できる機会を提供することで、新しい価値を創造する「ダイバーシティ経営」に取り組んでいます。フレックスタイムの導入や職場環境の改善などに取り組み、働きやすい環境の整備や、スタッフの資格取得支援などに注力しています。さらに、子育て中の主婦の方々でも働きやすいように、短時間労働の正社員も積極的に雇用しています。

また、学生のインターンシップを積極的に受け入れることで、建築業界への入職者の増加や大工職人の養成、技術継承を図ります。